

令和7年度 小規模多機能型居宅介護キバラ 事業計画

1、法人理念

社会福祉法人昭友会は、高齢者・障害者の尊厳を保ち、一人ひとりの個性を尊重して、愛情豊かで丁寧な福祉サービスを行う。また、地域社会と共存し、日常生活を通して理想的な高齢者・障害者の福祉に貢献する。

- 地域の福祉の中核となる法人を目指す。
- 愛情豊かで丁寧な福祉サービスを行う。
- ご利用者には敬老の精神で、ご家族には誠を尽くし信頼を得る。
- 全ての職員が利用者様の目線に立った介護サービスを提供する。
- 全ての職員が絶えず自己研鑽に努めて昭友会の発展に寄与する。
- 他の介護サービス事業者の信頼と尊敬を得られる事業所作りを目指す。

2、小規模多機能型居宅介護 キバラ 基本方針

- 住み慣れたご自宅・地域で、自立した日常生活を送れるよう支援し、生きがいや楽しみを持って日常生活が営めるようサポートします。
- ご利用者やご家族の生活状況に合わせて必要なサービスを提供し、安心して在宅生活が継続できるような福祉サービスを提供します。
- 地域住民の方々やご家族、保健・福祉・医療サービスや地域のボランティア等、様々な地域資源を活用し、ご利用者一人ひとりの自己実現を可能にする福祉サービスを提供します。

3、目標年間稼働率

年間稼働率	年間在籍数
96%	10161／10585

4、各部門の目標と行動

○介護

<目標>

- ・今できる動作が継続して行え、在宅生活が維持できるよう支援します。

<行動>

- ・ご利用者の身体状況の変化に注意し、職員間で情報共有する。
- ・ご利用者の住宅環境や周辺環境の変化に注意し、職員間で必要な情報を共有する。
- ・楽しみながら体や頭を動かすことができるよう、レクリエーションや体操を考案する。

○看護

<目標>

- ・ご利用者の健康管理を行い、安全で安心した在宅生活を送れるよう支援します。

<行動>

- ・ご利用者のバイタルサイン、行動や表情を観察する。
- ・医療的観点からのご利用者の変化について、介護職員と情報共有する。
- ・状況に応じてご家族への報告や医療関係機関と連携する。
- ・感染防止対策の指導、監督を行う。

○介護支援専門員

<目標>

- ・ご利用者のニーズの把握に努め、社会参加ができるようプランの作成に努める。

<行動>

- ・ご利用者の趣味嗜好について聞き取り把握する。
- ・ご利用者の得意不得意や残存機能について把握する。
- ・ご利用者及びご家族の困っていることを具体的に聞き取る。
- ・ご利用者及びご家族の状況変化に伴い、状況に応じてプランニングする。

○管理者

- ・ケアの向上、安全面への意識化

曜日別重点介護の意識化に努める。

安全運転に努め、交通事故の防止。

各マニュアルの周知、避難訓練の実施。

日常的な感染対策の実施。

- ・やりがいを感じて働ける職場環境をつくる

職員間の情報共有、連携強化に努め、職員が楽しんで働ける職場をつくる。

- ・地域との交流

地域行事への参加やボランティアでの地域貢献、イベントの企画など交流の機会をつくる。

5、人材育成

基本方針

研修計画に沿って研修を実施し、スキルアップできることで、やりがいを感じて働けるよう人材育成に努める。

実施月	実施内容	備考
4月	職員倫理(法人理念・事業目標等)	管理者
5月	感染対策	感染対策委員会
6月	身体拘束	身体拘束虐待防止委員会
7月	食品衛生について	管理者
8月	車の運転について	管理者
9月	防災について	防火管理者
10月	緊急時の対応について	看護師、管理者
11月	感染対策、BCP	感染対策委員会
12月	虐待防止	身体拘束虐待防止委員会
1月	苦情対応	管理者
2月	ハラスメントについて	管理者
3月	防災について、BCP	防火管理者

6、年間行事

月	2025年度 行事予定	2025年度 予算
4月	花見ドライブ	0
5月	英国庭園散策	0
6月	テイクアウト弁当	0
7月	七夕	3,000
8月	夏祭り	5,000
9月	敬老会	25,200
10月	テイクアウト弁当	0
11月	紅葉散策	0
12月	クリスマス会	12,500
1月	初詣、新春コンサート鑑賞	0
2月	節分	3,000
3月	ひな祭り	3,000
合計		51,700

(その他)

・ご利用者の誕生日月に誕生日会開催

7、委員会活動

委員会	役割
感染対策委員会(エルダーホーム、ビルドと合同)	・感染防止対策の指導、監督。 ・6月に1回、委員会開催。 ・研修、訓練の実施。
事故防止委員会	・事故報告書の防止対策の検討、決定。 ・毎月、事故報告とヒヤリハットの報告。
身体拘束虐待防止委員会	・3月に1回、委員会開催。 ・研修の実施。
苦情処理	・苦情対応(リーダー)。 ・苦情発生時に委員会開催。
生産性向上	・業務改善について検討。

8、会議活動

	開催頻度	役割
職員会議	毎月 必要時	・業務、利用者の処遇についての話し合い、決定。 ・委員会報告。 ・生産性向上のための業務改善について検討。 ・事務連絡。
運営推進会議	2月に1回	・ご利用者、ご家族、地域住民の代表者、地域包括支援センター等で構成し、運営状況の報告や意見交換などを行う。

9、防災(防災訓練の年間計画)

基本方針

1. 災害発生時のご利用者、ご入居者の安全を最優先とする。
2. 火災が発生しないよう細心の注意を怠らないこと。
3. 防災訓練を定期的に実施し、夜間災害を想定した訓練も実施する。
4. 災害発生に備え、連絡網の整備を図る。
5. 災害発生に備え、避難経路の確保、消火設備の取り扱い等、日頃より注意を怠らないこと。
6. 新たに採用の職員に関しては、災害発生時の対応について研修を行う。
7. 災害時には地域の一時避難所、また福祉避難所としての役割、防災意識を高めるために防災教育を行う。

年間防災訓練計画

実施月	実施訓練内容
9月	日中を想定した避難訓練 防災教育
3月	夜間を想定した避難訓練 防災教育

10、環境美化

基本方針

快適で清潔な環境づくりを目指します。

実施月	実施内容
12月	大掃除
季節ごと	季節に応じた飾りつけなどの模様替え 施設内、施設外の植物の育成

11、地域活動

基本方針

公共施設としての役割を認識し、地域の方の活用していただける環境づくりを目指す。

活動内容

- ・赤磐市入浴通所サービス事業受託
- ・ふれあいいいききサロンのボランティア
- ・赤磐市社会福祉法人連絡会の活動参加
- ・地域交流スペースの活用 など